

緑丘さつぽろ

第96号 ■平成26年1月1日
編集 ■緑丘会札幌支部広報委員会
札幌市中央区北5条西5丁目 sapporo55 3F
http://www.ryokyukai.com/
E-mail:ryokyukai@galaxy.ocn.ne.jp
印刷 ■岩橋印刷株式会社



静物
土井美代子〈昭和44年卒〉

平成26年(2014年) 緑丘会札幌支部 新年交礼会のご案内 明けましておめでとうございます



会員各位におかれましては益々ご壮健にて新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

本年の「新年交礼会」を右記の要領で開催いたします。

ご案内は本誌、ホームページのほか、年度幹事より会券配布をさせていただきます。会券につきましては<各自受付で精算>頂きますようご協力をお願いします。

*お席の準備上、ご出席の方は各年度幹事または支部事務局までご連絡ください。

申込み 緑丘会札幌支部 ☎/FAX : 011-231-6900
MAIL: ryokyukai@galaxy.ocn.ne.jp

- とき 平成26年2月11日(火・祝)
午後2時より
- ところ ニューオータニイン札幌2F 鶴の間
(中央区北2条西1丁目 ☎222-1111)
- 会費 6,000円(平成12年卒以前の会員)
3,000円(平成13年卒以降の会員)
- 講演 「仕事も人生も、
より豊かにする健康心理学活用術」
—五感を鍛え、身も心も晴れやか・健やかに—
講師：八尾 稔啓 氏
有限会社エイ・エル・ピー代表取締役社長
(昭和56年卒)
- ご招聘 出川 淳 先生(アントレプレナーシップ専攻)
多木 誠一郎 先生(企業法学科)
猪口 純路 先生(アントレプレナーシップ専攻)

目次

ごあいさつ	2~3	商店街アイデアコンテストグランプリ受賞について	9
有志主催の集りに込めた願い	4	エバーグリーン講座のご紹介／	
新春記念講演案内	5	第23回緑丘サテライトセミナー報告	10
緑丘サンキュー会 卒業45周年同期会	6	緑丘ゴルフ会だより ～ゴルフ雑感～	
“準硬”創部60周年記念大会を機に	7	活動報告囲碁／クリスマス会報告	11
親子で語る緑丘の思い出／支部からのお知らせ	8	編集後記	12

あけましておめでとうございます



緑丘会札幌支部
支部長

田尾 延 幸
(昭和43年卒)

健やかに新年を迎えられたことと存じます。ここ数年いろんな角度から取り組んできた緑丘会の活性化策が、徐々にではありますが具現化してまいりました。

1. 女子部会の創設と副支部長の設置

平成世代の卒業生の緑丘会参加、特に増加する女子卒業生の諸行事への参加を促す狙いから、女子部会を創設しました。また、札幌支部副支部長に福井芙美子さん(昭和54年卒)が就任いたしました。

2. 職域担当副支部長の設置

札幌において多くの卒業生が勤務する北海道庁、札幌市役所、北洋銀行、北海道銀行に対しての働きかけを強めるために、札幌市役所OBである小山高史さん(昭和49年卒)が副支部長に就任いたしました。

3. 有志の皆様による各種行事の実施

緑丘会に馴染んでもらうため、かつ参加しようという動機付けのための各種行事を実施いたしました。

まだまだ不十分ではありますが、できることは何でもやるという方針のもと、今後も様々なことに挑戦してまいります。

最後に私見ではありますが、平成世代が集まらなると嘆く前に、緑丘会の活性化のために今後は現役生を巻き込むことも必要ではないかと考えます。不幸な飲酒事故により、現在は学内禁酒など規範が徹底されているため難しい時期であると認識はしておりますが、現役3、4年生が参加できる行事を検討していきたいと思っております。

本年も色々工夫し、支部運営に努力いたします。



2013年新年交礼会 校歌斉唱の様子

先進の 色彩環境



当社独自のハイビジョンカラーが創り出す
高彩度・高精細な印刷を!



商標登録第16類、第40類



PDFから
手軽に電子ブック作製

ごあいさつ



小樽商科大学長
山本 眞樹夫
(昭和47年卒)

2013年も残りわずかとなりました。私の学長としての任期も来年3月まで。6年間（1期目4年、2期目2年）緑丘諸兄諸姉には大変お世話になりました。この場をお借りして、改めて感謝を申し上げます。この記事が出るころには、次期学長予定者も決まっていると思います。次期学長に対しても、変わらぬご支援を頂けるよう宜しくお願い致します。

学長在任の6年間、特に次の3つのことが想い起されます。第1は、いうまでもなく2011年の本学創立百周年事業です。第2は2012年に起きたアメリカンフットボール部の飲酒事故です。そして第3は、現在進行中の本学ミッションの再定義にともなう組織再編へ向けての動きです。

本学創立百周年に関しては、式典及び創立百周年祭に多くの関係者にお集まり頂き、私自身、今も各シーンを思い出すと感動を覚えます。百周年を記念して学生寮（輝光寮）の復興を果たすことができたことが、何よりの喜びです。小樽高商、小樽経専そして小樽商大にとって寮文化は、大きな意味を持っていました。智明寮の廃寮以来27年間、その寮文化が途絶えていたことに、商大に何か大きなものが欠けているとの思いがありました。いま、緑丘出身でもある大矢繁夫教育担当副学長の指導の下、次第に寮文化が形成されつつあります。この寮文化がどのように本学全体の学生文化に影響していくのか、楽しみにしています。

昨年5月、本学グラウンドで起きたアメリカンフットボール部の飲酒死亡事故は、その後の経緯を含め、マスメディアを通じて全国的に大きく報道されるところとなりました。大変なご心配とご迷惑をおかけしました。改めてお詫びを申し上げます。この事故については、まだ総括できる段階にはありません。再発防止に向けて、全学一丸となって取り組んでいます。学内での飲酒を伴う会合等の禁止など、皆様にもご迷惑をおかけしていますが、ご理解下さるようお願い致します。

ミッションの再定義とは、各国立大学が多額の国費が投入される教育研究機関として、どのようなミッションを持つのかを改めて明らかにし、国民への説明責任を果たすというものです。ミッション自体は、文部科学省が各大学との話し合いの上、文部科学省が公表することになります。今後、本学は、このミッションに沿う形で運営されることとなります。文部科学省との話し合いの中で、私は本学を基本的に人材育成のための大学であることを主張してきました。そのため、カリキュラムも学問体系からではなく、育成すべき人材をどのように教育するかと観点から編成します。一方、教える側の教員は研究者でもありますから学問体系に沿った組織がふさわしく、したがって教育組織と研究組織とを分離し、教育組織については現在の学科制の枠を取り払った、いくつかのコースまたはプログラムに再編したいと思っています。

そのコースの一つが、先日記者発表したグローバル・マネジメント・コースです。組織再編の意図については、『財界さっぽろ』（11月15日号）にインタビュー記事として掲載されました。ご一読頂ければ幸いです。

来年が、午年にふさわしく、皆様にとって飛躍の年でありますように。

**“MAJESTA”
SERIES**

CROWN

**“Royal”
SERIES**

**“ATHLETE”
SERIES**

週末は札幌トヨタへ **Go!** **札幌トヨタ** お客様相談テレホン/フリーダイヤル **0120-030040** 最新ニュースをいち早くお知らせ!
札幌トヨタ 検索

有志主催の集りに込めた願い

小西一郎
(昭和62年卒)

暑気払いも残るは閉会挨拶と逍遙歌斉唱。64名の視線が司会の私に注がれました。見詰めるどの顔にも喜びが溢れています。開催して良かった。出席して良かった。商大に学んで良かった。全員の思いが一つになり、会場が歓喜で満たされた瞬間でした。

2009年3月19日卒業祝賀会、応援団復活を願い20年振りの訪問で目の当たりにしたのは、校歌も寮歌も絶えてしまった商大の姿でした。母校への思いは人それぞれとは申せ、精神的伝統が途絶した大学に、果たして未来などあるのでしょうか。

団復活は、一組織の再興に留まるものではありません。団を中心とした学生文化の復活は、愛校心溢れる学生を育成することに繋がります。そしてそれは、OBの結束を強め、商大の良き護り手を作り出すこととなります。

一方、OBの中での緑丘会の位置付けは著しく低下してきました。とかく「平成卒」ばかりが取り上げられますが、この傾向は40年以上にわたるといのが実態です。

同窓会は時代遅れなのか。壮年以降のOBにとって、緑丘会は本当に無用な存在なのか。

そんな中、変化が訪れました。事の始まりは八十島忍君(H5卒)の頑張りです。今年の新年会に向け多くの同窓に声を掛け続けた結果、参加総数244名のうち平成卒が21名となりました。せっかく来てくれた彼等をこのまま帰すわけにはいかない。事務局のお許しを得て、彼等を幹事直会の席に誘いました。そして三次会、四次会へと連れて行ったのです。

以降、八十島君、寺井貫生君(H7卒)等と「有志」による集りを企画して参りました。

6月15日の総会では、参加総数164名に対して平成卒が31名、初めて有志で企画した二次会には平成卒26名を含む37名が出席しました。冒頭で述べた8月2日の暑気払いは65名が参加、うち平成卒は46名を数えました。趣向を変えて昼の小樽公園で開催した9月28日のBBQ収穫祭には、27家族38名が参加、平成卒は22名でした。12月7日(土)には子供から年配者まで楽しめるクリスマス会を企画、11月30日現在で1歳から80代半ばまで51家族69名が参加の予定です。

暑気払い後の四次会席上で、H13卒の菊地圭児君は次のように述べました。30代前半以降の世代は、大学時代から今までお手本となる年長者と出会うチャンスが極めて少なかった、そんな彼等にとって暑気払いは絶好の機会でした。

支部の集りに出席する若手は極めて少ないが、それは彼等が出席するには早過ぎることなのだろうという声もありました。しかし、暑気払いの盛り上がりは、緑丘会が若い世代にとっても「魅力ある広場」であることを十分に示しました。

有志主催の集りの狙いは、50代以降の同窓が抱く緑丘会への距離感を縮めることにあります。そして、世代を越えた一千の同窓が一堂に会し、校歌や寮歌、逍遙歌を唄いつつ、緑丘での青春の日々に思いを馳せ、母校の永続を期す。有志主催に込めたこの願いを実現すべく、これからも前に進んで行く所存です。



新春記念講演

仕事も人生も、より豊かにする 健康心理学活用術

—五感を鍛え、身も心も晴れやか・健やかに—

講師 ^{やお}八尾 ^{としひろ}稔啓氏

講師の八尾様は、健康心理士、産業カウンセラー、ストレスマネジメント士、心理学博士と多彩な資格を持ち、NPO法人子どもの権利支援センター監事など数々の役員も務められ、活発なご活躍は縦横無尽です。

メンタルヘルス・カウンセリング、自己開発研修、コーチング等、日本各地で様々な研修・講演をされています。北海道にも度々足を運ばれており、母校においても平成20年、エバーグリーン講座の講師として恩返しをいただきました。

面白い、動きがある、終わった後は皆癒し顔になると評判の八尾様のご講演、皆様にも笑顔をお届け致します。



<プロフィール>

- 1957年 山口県宇部市生まれ
その後19歳まで神戸市在住
- 1981年 小樽商科大学卒業
(会計学、剣道部、応援団)
江崎グリコ(株)に就職
(入社3年目にグリコ森永事件に遭遇)
- 1989年 富山のコンサルタント会社に就職
(就職支援、企業再生を担当)
- 1997年 ALP (アクティブライフプランニング)
を設立。産業、学校、医療を主体に
カウンセリングなどを幅広く実施

●会券は以下の通りです。支部ホームページからダウンロードすることもできます。当日は受付が大変混み合いますので、できるだけご持参くださいますようご協力をお願い致します。

キリトリ線

平成26年(2014年)緑丘会札幌支部

新年交礼会



- と き 平成26年2月11日(火・祝)
講演会 午後2時～
懇親会 午後2時30分～

- ところ ニューオータニン札幌 2F 鶴の間
(中央区北2条西1丁目 ☎222-1111)

- 会 費 **6,000円** (平成12年卒以前の会員)
3,000円 (平成13年卒以降の会員)

お名前

ご卒年

(昭・平)

年卒

以下、初めてご参加の方、変更のある方はご記入ください。

ご住所

電話・アドレス

(自宅・勤務先)

所属ゼミ・部・サークル

緑丘サンキュー会 卒業45周年同期会

千葉 万 藏
(昭和43年卒)

抜けるような青空の下、5年ぶりの同期会が始まる。昭和39年春、あの地獄坂を登り初めて顔を合わせた仲間たち。青春の輝きを謳歌し共に過ごした「緑丘サンキュー会」の同期会。卒業して45年、出会ってから半世紀、姿や形に多少の変化(?)はあっても「緑丘」の絆で繋がっている。

平成25年9月9日、日本のビール発祥の地、サッポロファクトリーレンガ館「ビアケラー札幌開拓使」に26名が集い「前夜祭」で幕を開けた。遠く沖縄、九州からも参加してくれた。体を気遣う優しい料理に物足りなさを感じながらも、この5年間を、そして45年の空白を埋めるのにそんなに時間は必要ない。

翌10日、夜の同期会までの時間は2コースに分かれ、思い思いに楽しんだ。

山本学長の下、緑丘会、大学挙げて改革に取り組み、着々とその成果を上げているわれらが母校「小樽商科大学」訪問と「田中酒造」の見学、運河散策ツアーに12名が参加。学生食堂で懐かしい味を堪能した。

ゴルファーにとって憧れのコース、北海道ゴルフ発祥の地、あの夢舞台「小樽カントリー倶楽部」が待っていてくれた。「ゴルフ会」は朝早くから17名が参加。「名門、難コース何するものぞ!」と意気盛ん。素晴らしいロケーションとコースコ

ンデション、真夏並みの暑さと日差しの中、多くが5年後のリベンジ!を誓ったのだ。コースこそ違え、5年前の今回は強風と大雨の中、ハーフでプレーを断念。10年待つ気力と体力の養成も必要か。

そして迎えた、「緑丘サンキュー会卒業45周年同期会」会場を朝里川温泉の「小樽朝里クラッセホテル」に移し、3名の御夫人を含む総勢49名が一堂に会した。

先立った友に厳かに黙とうを捧げ、健康でいることの幸せをかみしめた。

大学の近況を山本学長にお話いただく予定が、はずせない仕事で残念ながら欠席された。大学理事を務める同期の海老名誠君より大学を取り巻く状況報告をしてもらい、改めて厳しさを実感し、緑丘会の重要性を共有した。

沖縄より参加してくれた宮城勝君の発声で祝杯、賑やかに開宴。あちこちに宴の輪が広がる中、飲み物、料理を堪能。ゴルフ会で優勝した大坂君、母校訪問ツアーに参加した野本君、45年ぶりの中前君等にお話をしてもらい、時は瞬間に終宴へ。

一同肩を組み、応援団OBの山崎君、高橋君のエールで「校歌」「若人逍遙の歌」を。そして、5年後の再会を誓い、2日間に亘る卒業45周年同期会の幕は下りた。



ファーストクラスのおもてなしで
皆様をお迎えいたします。

It relaxes travelers.

 **New Otani Inn**
ニューオータニイン札幌
〒060-0002 札幌市中央区北2条西丁1丁目1
TEL. 011(222)1111
<http://newotanisapporo.com>

“準硬”創部60周年記念大会を機に



昭和30年 創部時のメンバー

小樽商科大学準硬式野球部監督
北海道地区大学準硬式野球連盟副会長

中川 廣太郎
(昭和36年卒)

9月21、22日の両日、準硬式野球部創部60周年記念祝賀会及びOB対現役戦を小樽市で開催した。祝賀会には全日本大学準硬式野球連盟井野会長（北大OB）、初代顧問久野先生、OB、学生約50名程が参加、60年の歩みを語り合った。翌日は商大グラウンドで久しぶりのOB対現役戦を敢行した。しかし、還暦を過ぎた往年の投手や中年太りながら今でも元気なOB達の投打に、現役は手も足も出ない。時間の関係で試合を7回で終了した。それでも元気の無い後輩達にOBは「頑張れ！頑張れ！」と声を掛けグラウンドを去って行った。

昭和29年6月、準硬式野球部は、前年4大学で発足した北海道地区連盟に他の4大学と共に加盟、昭和30年に新たに1大学が加わり、この年から10大学による全道選手権及び全日本選手権道予選を開催出来るようになった。ちなみに現在は、20大学・学部が加盟している。当初はトーナメント方式の大会だったが、加盟大学数の増加により、昭和54年から現在の三部制に移行した。母校は一部校だったが、昭和59年に二部に降格、平成14年に三部に落ち、現在にいたっても下位グループ残留に甘んじている。しか

し、60年間の歴史の中で輝いた時期もあった。昭和35、37、38年は東日本大学選抜大会（現清瀬杯）に北海道代表として出場。昭和37年（釧路会場）は準決勝では優勝した日大に2対4で惜敗した。しかし“北に小樽商大あり”と全国に存在感を示したものだ。また、昭和46、47、58年は全日本選抜大会（東西統合の清瀬杯）に北海道代表として“神宮”に3度出場している。また、“道地区大学体育大会”では小樽商大が当番校の昭和36年、硬式庭球部と共に優勝。当時の加茂学長よりトロフィーを受け取り、桜ヶ丘球場を埋めた応援団と学生達を大いに沸かせた。

ところで、今回の記念大会に参加したOB達は、後輩達の余りにも不甲斐ない姿に驚いた。井野全日本会長は“祝辞”ではなく異例の“苦言”と“檄”を飛ばしてくれた。“バット2本、ボール数個”“指導者不在による仲良しクラブ”的な状況を改革する為に、OB達は60万円近い活動資金を拠出してくれた。また、何人かが後輩の面倒をみるためグラウンドに顔を出すと申し出た。監督として、来年は“まず1勝”そして“三部優勝”を目指したい。乞う御声援！

医療機器・理化学機器・福祉機器

WISM 株式会社 **ムトウ**

取扱品目 医療機器・理化学機器・ME機器・病院設備・放射線機器・メディカルコンピューター・貿易業務・歯科機器・福祉機器・介護用品

代表取締役社長 田尾延幸

札幌本社（北海道事業本部）／札幌市北区北11条西4丁目1番15号・☎(011)746-5111

東京本社（東京事業本部）／東京都台東区入谷1丁目19番2号・☎(03)3874-7141

大阪支社（大阪事業本部）／大阪市東成区深江南2丁目13番20号・☎(06)6974-0550

福岡支社（福岡事業本部）／福岡市博多区千代4丁目29番27号・☎(092)641-8161

支店／札幌中央・札幌西・札幌白雲・新札幌・旭川・函館・釧路・帯広・北見・遠軽・八雲・室蘭・苫小牧・日高・小樽・千歳・岩見沢・空知・名士・稚内・秋田・仙台・いわき・群馬・栃木・日立・水戸・茨城・熊谷・埼玉東・埼玉西・埼玉中央・所沢
東京西・本郷・城北・城西・城南・多摩・多摩西・武蔵野・柏・千葉西・千葉・鶴川・神奈川・横浜・横浜南・横浜市大前・神奈川東・川崎・川崎北・北大阪・南大阪・西大阪・奈良・鳥取・小倉・筑豊・大川・久留米・佐賀・大牟田・熊本

営業所／青森・島根・唐津

出張所／鹿島

—親子で緑丘人—

親子で語る緑丘の思い出

久保 溪 女
(平成20年卒)

これから四年間、この地獄坂を毎日通うことができるだろうかという少しの不安と、これから始まる憧れの大学生生活への期待とを抱きながら、小樽商科大学での初めての授業へと向かった思い出を、今は大切な青春の1ページとして懐かしく、鮮やかに思い出す卒業生の方は多いかと思います。父にも私と同じようにあの急な地獄坂を登り、毎日大学へと向かった輝く青春があったのかと思うと、不思議な感覚にとらわれ、それとともになぜか笑みがこぼれます。

私が小樽商科大学に入学してからは、同じ大学を卒業したという仲間意識ができたためでしょうか、高校生の時よりも父と沢山話をするようになりました。話題の中心も、勉強のことや父の高校時代や大学時代の話からはじまり、小樽の歴史、当時の経済や物流、人々の生活などに渡り「自分も父親となんだか難しい話をするようになったなあ。大人になったなあ。」と変なところで大学生になった実感を得て、満足していたように思います。こうした思い出を折につけ多くの実体験とともに聞くことができたことは、私にとって非常に大きな財産となりましたし、その後の就職にも大きな影響を及ぼしたように感じています。父や父の親友の方たちが、とにかく勉強を沢山し、よく遊んでいたよさだということがわかってからは、「よし、自分もたくさん遊んで、たくさん勉強をしよう」などと思い、それと同時に自分が本当に就きたい職業や将来についても少し真剣に考え自立心のようなものが急速に芽生え

たように感じます。その結果かどうかはわかりませんが、父と私は商大卒業後の進路で、少し普通の商大生とは違った進路と職業を選択しているところがまた面白く、お互いに似た者同士であったのかとも思います。父や私が、他の学生よりも歩みは遅くとも、現在何とか自分の好きな分野で職を得ることができ、口が渴かずにご飯を食べて過ごしているのは、やはり大学時代の教育環境が大きく影響したように思います。地獄坂で毎日体を鍛え、勉強だけではなく物事のとらえ方、基本的な考え方など広い視点を持つことの大切さを学ぶことができた商大での四年間は、私自身のその後の大学院、研究員、就職などそれぞれの時期で非常に役立ちましたし、助けられています。商大で過ごした学生生活はとても印象的であり、同じ商大生として父と共通の話題が尽きることがなく語り合える時間をとても嬉しく思います。



支部からのお知らせ

1. これまで「緑丘さっぽろ」を紙製のカラー封筒でお送りしておりましたが、本号より裏面が透明のOPP封筒に変更いたしました。新年交礼会のご案内詳細、また掲載記事が一目で分かるようにしました。
2. ゆうちょ銀行の加入者名が変わりました。
旧「(社) 緑丘会札幌支部」 → 新「緑丘会札幌支部」
緑丘会の公益社団法人への移行に伴い、札幌支部では社団法人の表記がなくなります。口座番号は今までどおりで変更ありません。
また郵便法の信書に関する規定により、これまで納入済みの場合に払込取扱票の金額欄に表示していた「****」を外しました。ご不便をおかけしますが、よろしくお願いいたします。

小樽市市民会館

3. 商大応援団後援会が平成26年(2014年)10月12日(日)、~~小樽市民センター(マリナーホール)~~に於いて「小樽商科大学応援団第百代記念式典」を実施します。伝統・鼓舞の第百代記念の大祭を祝いたいと思います。更なる詳細は次号(第97号)でご案内いたします。

ーキャンパス情報ー

商店街アイデアコンテストグランプリ受賞について ～ボクマチスクール～

小樽商科大学経済学科3年
保田ゼミナール所属

荒谷 沙織

9月14日に札幌市主催で行われた「商店街学生アイデアコンテスト」にゼミ生の小林龍一郎とともに「小樽商科大学保田ゼミナールこぼチーム」として出場し、アイデアプラン「ボクマチスクール」でグランプリを受賞いたしました。ボクマチスクールは「商店街を教育で元気にする」というプランです。

保田ゼミではコーポレートファイナンスとビジネスプラン作成を勉強し、各ビジネスプランニングコンテストにも出場しています。今回のコンテストについては、ゼミ生の小林が中国留学を予定していたので、留学前の思い出作りとして「受賞して中国で自慢しちゃおうよ!」という楽しいノリではじめたものでした。

プラン作成にあたって、現在の商店街の問題を考えることから始めました。まずは大学から近い小樽の都通商店街をモデルとして、実際に歩いてのフィールドワークを行いました。都通商店街は人通りがあるのですが、よく見ると、商店に入って行く人は少ないようでした。また、小樽在住の学生である自身の実感としても、「若者が商店街に通う習慣」がないのではと感じました。そこで、私達は「商店街には集客力がない」ことを問題と仮定し、「商店街には若者が集うきっかけ・場所づくり」を行えるプランを考えることにしました。

また、若者が集うきっかけとして「教育」に焦点を当てました。メンバー共通の経験として、義務教育では「考える・工夫する・仲間とコミュニケーションする」という体験が少なく、しかし大学以降で求められているのはそのような力ではないか、という教育に対する問題意識がありました。コミュニケーション力や思考力をテーマにした楽しい小学生向けのスクールを、私達大学生がボランティアの先生となって開講すれば、商店街に小学生・親・大学生が集う場所を作り出せるし、自分たちが教育に対してもっている問題意識にも挑戦できる場になる、と考え、ボクマチスクールを考案しました。

ボクマチスクールは、理系大学生による理科の実験教室など、大学生が得意分野を生かして小学生向けの教室を企画することで、小学生は楽しい授業を受けられる場になり、大学生も企画力を身につけられる場になります。また、保護者の支払う利用料が商店街に還元される

という、商店街にお金がまわる仕組みづくりに挑戦していることも、プランの大きな特徴の一つです。

プランを練り込むにあたって、今度は実際にアイデア提案の候補として挙げた、発寒北商店街・新琴似商店街・札苗商店街の3つの商店街を歩いてフィールドワーク調査をしました。実際に商店街の様子を見て回ったことで、やはり商店街には「集う場所」が必要だと感じ、どのようにすればボクマチスクールの案が解決策として役立つかを想像することができました。

フィールドワーク後は、保田先生とゼミのメンバーに何度もフィードバックをもらい改善を繰り返しました。時間のかかる作業でしたが、仲間の協力を得ることができ、プランの練り込みは本当に楽しかったです。

コンテスト当日は、楽しみながら作ったプランなので「笑顔で、プランの楽しさを伝える」ことを心がけてプレゼン発表をしました。保田ゼミではプレゼンをする機会がとにかく多いので、ここでもゼミでの学びを最大限生かせたいと思います。今回の受賞は保田ゼミでの学びの成果であり、ゼミの仲間の協力と先生のご指導がなければ受賞はありませんでした。

グランプリをいただいた後、発寒北商店街の方々と実現化に向けた話し合いを進めています。プラン作成やその後商店街の方々のお話を聞く段階を経て、地域の問題や、大学生の役割を考えるきっかけとなりました。今までは机に向かって考える時間が多かったのですが、ここからは実際に動いて進めていければと思います。一緒に活動するメンバーや協力していただける方々を大募集中ですので、どうぞ、ボクマチスクールをよろしく願いいたします。



エバーグリーン講座のご紹介

エバーグリーン講座は、緑丘会の全面的な支援のもと、実社会で活躍する幅広い世代の卒業生を特別講師として迎え、人生の先輩として自らの経験を語ることにより、現役学生に卒業後のビジョンや学生時代になすべきことのヒントを与える連続講義です。

本講座は昭和52年に開始され、今年で27回目を迎えます。開始当初は単位認定もなかったため講義に出席する学生も少なかったそうですが、その後、正式に単位認定される授業となり、近年では、学生の本講座に対する関心は高まり、210番の大教室が一杯になる状況です。単位に関しては、一時期、出席すれば単位になるとのことで一教室に

収まらないほどの受講者になったこともあったそうです。しかしながら、近年は、資料を読んだ上での事前レポート、講演者への事前質問、講義を聞いた上での受講レポートの提出が求められる、これらをもとに成績評価がなされます。

大学生活の4年間は、人生に比べると短い期間ですが、しかし、その後の人生を決定づけるといってもいいほどの重要な期間だと思います。そこでの学びや行動、人付き合いが将来に大きく影響していると感じます。学生にとっては卒業後の姿は未知の世界ですが、未知の世界を経験している諸先輩の話から想像し、そこから今すべきことに気づいてほしいものです。

平成25年度 エバーグリーン講座 日程

項	講演月日	氏名	卒年	講演テーマ	現職等
1	10月 2日	緑丘会本部 桶 谷 喜三郎		オリエンテーション	
2	10月 9日	小野寺 泰 男	昭和46年卒	非メイン事業の国際化	元 東洋ゴム工業株式会社顧問
3	10月16日	舟 本 秀 男	昭和41年卒	40年史観で見る“世界”、“日本”、“北海道”	株式会社財界さっぽろ 代表取締役社長
4	10月23日	林 春 美	平成23年 MBA卒	地方都市の歯科医院における経営戦略	医療法人社団林歯科医院理事 歯科医師
5	10月30日	増 岡 直二郎	昭和36年卒	ドラッカー経営理論の評価、及び理解と実践の仕方	nao IT 研究所 代表
6	11月 6日	植 木 宏	昭和51年卒	キリンビールの戦略 —組織活性化とそのポイント—	キリンビールマーケティング株式会社 代表取締役社長
7	11月13日	合 場 直 人	昭和52年卒	人を想う力。街を想う力。—共通価値の創造	三菱地所株式会社 代表取締役専務執行役員
8	11月20日	阿 部 眞 久	平成24年 MBA卒	夢を力に	NPO法人ワインクラスター北海道 代表理事
9	11月27日	渡 部 成 人	平成7年 修士卒	グローバルに考え、ローカルに活躍しよう!	国土交通省北海道開発局 開発監理部開発調整課事業調整専門官
10	12月 4日	東 野 里 絵	平成11年卒	後悔しないキャリアの選び方	株式会社 HBA自治体システム本部 営業システム部システム課 課長代理
11	12月11日	吉 村 匠	昭和59年卒	クリエイティブな北海道をアジアに広げる取組み	一般社団法人北海道食産業総合振興 機構(フード特区機構) 出向 販路拡大支援部部長 NPO法人札幌ビズカフェ理事 副代表
12	12月18日	三 神 仁 美	平成7年卒	社会で求められる人となるために ～夢を描ければ何だってできる!	三神仁美税理士事務所
13	1月15日	澁 谷 樹	平成15年 修士卒	私の経済法研究 ～消費者のための真の行政を考える～	(独) 農林水産消費安全技術センター 仙台センター業務管理課 専門調査官
14	1月22日	城 市 猛	平成2年卒	就職体験(就職活動から今日に至るまで)	シティバンク銀行株式会社 札幌支店長
15	1月29日	下 中 博 文	昭和52年卒	信用金庫と地域との絆～地域に信用金庫あり 小なれどその絆強し～	小樽信用金庫 専務理事

第23回緑丘サテライトセミナー報告

緑丘サテライトセミナー
副委員長

福 井 郁 子

(昭和57年卒)

9月21日第23回緑丘サテライトセミナーは、盛況のうち無事終了いたしました。

昭和46年卒 熊木敬悦氏から中国の骨董と経済について貴重なお話を伺うことができました。参加者は27名でした。

また、その後希望者を募り、熊木氏を囲んで茶話会を開催いたしました。こちらでは、小樽商大在学中の下宿での逸話など気さくにお話いただき、12名の参加者の方々と和気藹々と過ごすことができました。

今後も、当緑丘サテライトセミナー委員会では、多様なセミナーを企画したいと思っております。皆様のご参加よろしくお願いたします。



緑丘ゴルフ会だより ～ゴルフ雑感～

ゴルフ委員会
委員長

岩佐正之
(昭和49年卒)

ゴルフで100を切ることは、多くのゴルファーにとって記念すべき金字塔であるようです。現代のようにゴルフ用具が進化を遂げていなかった創成期のころ、100を切ることは至難なこと。ゴルフ史上、初めて18ホールで100を切ったのは1767年にジェームス・ダームラーという選手がセント・アンドリュースのシルバー・クラブ競技で出した94であったそうです。しかもこの記録は、その後86年間破られなかった。

格言に曰く……

「人生には誰でも4つの記念すべき日がある。一つ目は誕生日、二つ目は婚約の日、三つ目は結婚の日、四つ目は死亡の日である。だがゴルファーにはもう一つこれに加える日がある。それは初めて100を切った日だ。」(1923年 リューイ

ス・ブラウン)

私のゴルフは昨今ハンディキャップも急降下、時々どころか頻繁に100を突破する体たらくです。

またまた格言に曰く……

「忘れなさんな、気分よくななくちゃいけないということを。ゴルフは生死に関わる問題じゃない。ただの遊びだし、そう扱うべきだ。気楽にしていなきゃ」(チ・チ・ロドリゲス)

今年のゴルフ会も盛況のうちに全日程を終了しました。成績は下表の通りです。会員の皆様、ご苦労さまでした。また来春桜の花の下でお会いしましょう。新入会の方、歓迎します。ご一報を。

●平成25年度緑丘会札幌支部ゴルフコンペ(支部長杯争奪戦)開催結果

回	日時	曜日	会場	出席者	競技方式	優勝者	準優勝者
第1回	5月 5日	祝	茨戸カントリークラブ	22	ダブルペリア	昭和49年卒 大石 一良	昭和55年卒 堂 普 聰
第2回	7月20日	土	札幌国際CC島松コース	20	ハンディキャップ	昭和48年卒 浅野 百 樹	昭和41年卒 大船 喜八郎
第3回	8月 9日	金	小樽CC新コース	33	ハンディキャップ	昭和58年卒 安住 昭	昭和41年卒 河原木 義 治
第4回	9月23日	祝	札幌GC由仁コース	21	ハンディキャップ	昭和37年卒 小林 明 生	昭和49年卒 佐賀 正 寿

堅実・愚直に例会、知事杯戦

札幌緑丘囲碁クラブ

平成25年の活動をすべて計画通り終え、安堵感と翌年への高揚感を覚えました。

<例会>

- 2月17日(日) 第一回定例会兼総会 31名 上村囲碁道場
- 5月19日(日) 第二回定例会 22名 上村囲碁道場
- 9月15日(日) 第三回定例会 19名 上村囲碁道場
- 11月17日(日) 第四回定例会 27名 上村囲碁道場

<知事杯戦>

- 3月 3日(日) 春季知事杯戦 三部リーグBチーム 6位
- 4月 7日(日) 春季知事杯戦 一部リーグAチーム 3位
- 10月 6日(日) 秋季知事杯戦 一部リーグAチーム 7位
- 11月 3日(日) 秋季知事杯戦 三部リーグBチーム 7位

<小話 囲碁用語>

中国伝来の盤上ゲームである囲碁ですが用語の漢字当用が味わい深い。

移入後、日本語漢字として当てたのですが「音」ではなく「意」です。

さあいくつ分りますか? 碁をされる方には熟知の用語です。

尖 撲 門 点 綽 拆 粘
盤 征 行

答えは12ページに

クリスマス会報告

有志&女子部会

粉雪舞う12月7日(土)12時からTKPガーデンシティ札幌きょうさいサロンにおいて、クリスマス会を実施しました。初めてのイベントだったにも関わらず、1歳から80代半ばまで、お子さま17名と奥さま1名を含む50家族68名の方にお集りいただきました。

冒頭にサンタから子供たちへのプレゼント、景品を巡っての小樽クイズでは大いに盛り上がり、最後には持ち寄ったプレゼントの交換と和気あいあいと楽しい時間でした。今後も、大勢の方が楽しく過ごせるイベントを数多く企画していきたいと思っております。



平成25年度支部会費 納入状況 平成25年11月30日現在

卒 年	会員数	納入数	卒 年	会員数	納入数
昭和13	3	1	昭和54	65	14
昭和14	3	0	昭和55	39	14
昭和15	2	1	昭和56	31	7
昭和16	9	5	昭和57	36	10
昭和17	9	4	昭和58	25	5
昭和18	12	2	昭和59	44	3
昭和19	16	3	昭和60	35	7
昭和20	14	10	昭和61	33	4
昭和22	7	4	昭和62	31	6
昭和23	29	11	昭和63	25	4
昭和24	14	3	平成1	18	1
昭和25	29	12	平成2	21	1
昭和26	12	4	平成3	19	3
昭和28	28	12	平成4	27	0
昭和29	30	19	平成5	27	3
昭和30	38	17	平成6	32	1
昭和31	42	21	平成7	32	5
昭和32	46	35	平成8	25	3
昭和33	34	20	平成9	19	0
昭和34	42	27	平成10	17	1
昭和35	26	10	平成11	9	1
昭和36	31	11	平成12	17	0
昭和37	25	11	平成13	65	2
昭和38	36	12	平成14	71	5
昭和39	28	11	平成15	127	2
昭和40	32	12	平成16	63	1
昭和41	35	11	平成17	53	0
昭和42	29	5	平成18	48	0
昭和43	27	12	平成19	24	1
昭和44	22	5	平成20	34	2
昭和45	44	32	平成21	31	5
昭和46	35	6	平成22	36	0
昭和47	29	8	平成23	29	1
昭和48	32	7	平成24	43	3
昭和49	38	9	平成25	37	0
昭和50	28	5	小 計	2,318	520
昭和51	38	9	短 大	233	18
昭和52	34	8	大学院	30	7
昭和53	42	10	M B A	71	71
			合 計	2,652	616

亡くなられた会員の皆様(平成25年5月~平成25年11月受付まで)

昭和8年	南 俊栄	2013年10月24日	ご逝去
昭和13年	額田 茂孝	2013年9月30日	ご逝去
昭和17年	宮本 博	2013年4月18日	ご逝去
昭和24年	喜田 利弘	2012年10月	ご逝去
昭和26年	笹田 和臣	2013年1月22日	ご逝去
昭和26年	尾形 圭昭	2013年5月16日	ご逝去
昭和28年	横山 敬治	2012年7月22日	ご逝去
昭和30年	竹内 寧	2013年4月12日	ご逝去
昭和31年	堀 哲夫	2012年8月	ご逝去
昭和32年	濱田 英彦	2013年11月12日	ご逝去
昭和32年(短)	吉田 武	2013年5月12日	ご逝去
昭和33年	増谷 襄二	2012年11月9日	ご逝去
昭和36年	金森 憲司	2013年10月15日	ご逝去
昭和36年(短)	谷井 哲男	2013年1月7日	ご逝去
昭和42年	柏熊 忠	2013年9月25日	ご逝去
昭和47年	杉谷 敏夫	2012年9月27日	ご逝去
昭和61年	保田 明子	2013年4月27日	ご逝去

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。(敬称略)

新広報委員 ご紹介

今年度より広報委員としてご協力いただけることになりました。女性ならではの視点で、紙面に新しい風を吹き込んでくださると思います。どうぞよろしくお願いいたします。



左より 山谷智恵子さん(平成9年卒)、伊藤光安広報委員長、大門あすかさん(平成15年卒)

編 集 後 記

明けましておめでとうございます。

アベノミクスにはじまり、今でしょ、じぇじぇじぇ、倍返し、そして「お・も・て・な・し」。色々な言葉が飛び交った昨年。今年はどんな世相がどのような言葉で彩られるのでしょうか。

今、緑丘会札幌支部では、平成の卒業生をはじめ若い会員の札幌支部活動への積極的参加を図るため、種々の取り組みが模索されております。且て、昭和50年代に昭和30年卒の山田孝先輩を中心に支部活性化の方策が練られたことがありました。その提言を受け各常設委員会が組織化され、現在の支部組織の骨格が出来上がり、この「緑丘さっぽろ」も支部広報の使命を担ってそのとき創刊されました。号を重ねて100号発行が近づき、当時から携わっている者として感慨深いものがあります。また、緑丘人となって10~20年しか経っていない若い支部会員によって提言がなされ、支部としてそれをことごとく受け入れていただいたことに感謝するとともに、今更ながら当時の支部役員の方々の危機感を窺い知ることもできます。

今年は「午年」。あやかって「飛躍」の年となるよう、支部活性化のための色々な試みが結実されることを願ってやみません。
伊藤文二(昭和46年卒 広報副委員長)

●11ページの答え

順にごすみ、うってがえし、げた、なかく、はね、ひらき、つぎ、わたり、しちょう、のび

緑丘会札幌支部

電話/FAX: 011-231-6900

ホームページ <http://www.ryokyukai.com/>

メール: ryokyukai@galaxy.ocn.ne.jp

緑丘会札幌支部は、会員の皆様の会費によって運営されています。

緑丘会本部会費とは別に、札幌支部会費として年額3,000円を申し受けております。3年分、5年分とまとめてお支払いになりますとお得な割引制度もございます。是非、支部会費の納入にご協力をお願い申し上げます。